



2021年4月28日

各位

会社名 中山福株式会社

代表者名 代表取締役社長

石川 宣博

(コード番号 7442 東証第一部)

問合せ先 取締役管理本部長兼グループ事業部長

兼経営企画部長

橋本 謹也

(TEL. 06-6271-5393)

## 2021年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2021年4月28日開催の取締役会において、2021年1月29日に公表いたしました2021年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 2021年3月期通期連結業績予想の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	47,300	460	820	650	33.08
今回修正予想(B)	47,865	872	1,288	1,012	51.51
増減額(B-A)	565	412	468	362	
増減率(%)	1.2	89.6	57.1	55.7	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	46,657	48	472	220	11.05

## 2. 修正の理由

家庭用品・日用雑貨等を扱う「家庭用品卸売事業」において春物を中心としたシーズン品の販売が堅調であったこと、「インターネット通信販売事業」において「巣ごもり消費」を背景とした販売が引き続き好調に推移したこと、「プラスチック日用品製造事業」において全国的に襲来した寒気に伴う降雪の影響により好調であった冬物製品の販売に加え収納用品等の新製品の導入実績が貢献したこと、これらの増収要因を受けて、グループ全体の売上高は前回発表予想を上回る見通しとなりました。

また、利益面におきましては、収益性の高い商品の販売が伸長したことなどにより「家庭用品卸売事業」の粗利率が改善し、また上述の「プラスチック日用品製造事業」の冬物製品等の販売伸長による粗利率の底上げが、グループ全体の粗利率改善に寄与しました。さらに、販売経費などの圧縮が功を奏した結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに、前回発表を上回る見通しとなりました。

※予想数値は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上